

令和元年度(平成30年度実施事業分)事務事業評価評価票

No. 35-003

PDCA	事務事業名	医療費未収金対策事業	部課等名	半田病院事務局 医事課 医事担当	担当 内線等	山本 1111	
P 総合計画との関係性等	政策体系	章： 第2章 子育てとくらしを地域で支え合うまち					
		節： 第3節 健康増進と医療体制の充実					
		基本施策： 3. 半田病院					
		単位施策： 個別施策：					
根拠法令等	半田市立半田病院の医療費滞納者に対する支払督促等及び強制執行事務処理要綱						
対象・目的	医療費未払いの患者に対し、「未納のお知らせ」を始め文書による督促を実施し、未収金の減少を図る。悪質な滞納者に対しては法的措置（支払督促等）に移行し収入を確保する。また、弁護士法人に回収業務を委託することにより、未収金の回収を図る。						
目的を達成するための手段・活動内容	新規発生分は、翌月には「未納のお知らせ」を送付し早期の納付を促し、これに応じないものには文書や電話による督促を行い未収金の回収を図る。支払誓約による分割納付を確実に履行させるため受付管理簿を作成し回収もれを防止する。悪質な滞納者に対しては、法的措置又は弁護士法人への回収委託へと移行する。						
D 前年度の活動結果と見られた成果	活動結果	活動実績	28年度	29年度	30年度	単位	
		①医療費個人負担分収納額	1,477,784	1,484,496	1,642,226	千円	
		②クレジットカード支払額	344,787	354,132	428,800	千円	
		0					
		事業費	2,751	2,806	4,164	千円	
		人件費	—	—	—	千円	
		総事業費	—	—	—	千円	
	活動単位当たりのコスト	28年度	29年度	30年度	単位		
	①						
	②						
	③						
	成果	成果指標	28年度	29年度	30年度	単位	
		①医療費個人負担分収納率（全体）	実績値	83.1	82.5	87.32	%
目標値			87.0	87.0	86.46		
②医療費個人負担分収納率（現年）		実績値	94.4	93.9	99.07	%	
		目標値	97.0	97.0	99.08		
③医療費個人負担分収納率（過年）		実績値	25.4	24.8	26.00	%	
	目標値	35.0	35.0	25.47			
C 課題の整理	観点別評価	必要性	有効性		効率性		
		①市の関与の妥当性 妥当	④上位施策への貢献 大きい	⑦コスト削減余地 ある			
		②市民ニーズ 高い	⑤成果向上の余地 ある	※手段の変更			
	③休廃止の影響 大きい	⑥類似事業の有無 ない	⑧受益者負担適正化余地 —				
事業の評価・課題	B 現年度分診療費については、滞納者に対する早期の納付催告などの取り組みにより、未収金の発生防止に努めたが、入院患者数の増加に加え、医療費が高額となる健康保険未加入の患者や、交通事故の患者の医療費が未収となったため、現年度分診療費の収納率は0.01%届かなかった。 しかし、今年度から、悪質な滞納者に対しては、弁護士法人へ診療費の回収業務を委託したことにより、過年度分診療費の収納率が伸び、全体の個人負担分の収納率は87.32%となり、目標を達成することができた。						
A 課題解決のための目標	今後の事業の方向性	改善推進 現年度分の未収金の新規発生を防ぐため、長期入院の患者や、健康保険未加入の患者に対しては、早期介入を図り、患者負担の軽減が図れる制度等の利用を促しながら、未収金の発生を防止していく。 そして、未収金システムを活用し、適切な未収金管理を行ない、悪質な滞納者については、弁護士法人へ回収を委託していく。					
	令和元年度の目標	成果指標	目標値	単位			
		①医療費個人負担分収納率（全体）	86.87	%			
		②医療費個人負担分収納率（現年）	99.13	%			
③医療費個人負担分収納率（過年）	25.70	%					